

平成 24 年度第一回魚津市行政改革推進委員会会議録

日 時	平成 24 年 8 月 9 日（木） 午後 2 時～午後 3 時 55 分	
開催場所	魚津市役所第一会議室	
出席者	<p>【魚津市行政改革推進委員】</p> <p>青山芳枝、浅野朱実、岩井哲雄、岡本安克、慶野達二、中村和之 吉田讓、若林忠嗣</p> <p>【事務局】</p> <p>澤崎市長（途中退席）、沖本企画総務部長、殿村総務課長、新浜財政課長 南塚総務課長代理、宮崎財政課長代理、広田総務課主任</p>	
欠席者	なし	
開催形態	公開（傍聴者 2 名）	
議 題	<p>○委嘱状交付式</p> <p>1 委嘱状交付</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>○魚津市行政改革推進委員会の取組みについて</p> <p>○議事</p> <p>1 会長の選出について</p> <p>2 魚津市行政改革集中プランの進捗状況の確認について</p> <p>3 公共施設のあり方検討について</p>	
会議概要	事務局	<p>○委嘱状交付式</p> <p>ただ今より魚津市行政改革推進委員会委員委嘱状交付式を開催いたします。魚津市行政改革推進委員会は、第 4 次魚津市行政改革大綱及び魚津市行政改革集中プランに基づき設置される機関であり、魚津市の行政改革の推進に関する事項について調査審議の上、市長にご助言いただくという役割を担っております。新たに委員となる方々には本日 8 月 9 日から 2 年間、行政改革推進委員を委嘱するものであります。</p> <p>それでは、委嘱状の交付を行います。市長が各席を回りますので、その場でお待ちになり、市長が席の前に行きましたら起立していただき委嘱状をお受け取りください。それではよろしく願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜市長より委嘱状手交＞</p>
	事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、このたびの魚津市行政改革推進委員会の再編成にあたりまして、市長がご挨拶申し上げます。</p>
	市長	<p>本日は、魚津市行政改革推進委員会に公私ともお忙しい中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、皆様に御委嘱を致しましたところご快諾を賜りましたことに心から御礼を申し上げる次第でございます。</p> <p>本市におきましては、現在、平成 22 年 4 月に策定いたしました「魚津市行政改革集中プラン」に基づきまして、その進行状況を点検しながら、行</p>

		<p>政改革の推進に取り組んでいるところでございます。しかしながら、今後予想されます人口減少や少子高齢化の進展など、本市を取り巻く環境が大きく変化していく中におきまして、持続可能な行財政経営を行っていくためには、引き続き行政改革に取り組んでいく必要があると考えているところでございます。</p> <p>一方で、高度経済成長と人口増加を背景としてこれまで増加を続けてきた公共施設が、今後、次々と耐用年数を迎え、現状のまま維持するには多額の更新費用等が見込まれるといった大きな問題を抱えているところでございます。</p> <p>こういったことから、本市としましては、今後さらなる行政改革に取り組んでいくこととし、なかでも「公共施設のあり方検討」を早急に検討していくべき重点課題であると位置付け、この度、外部委員で構成されます魚津市行政改革推進委員会を再編成し、客観的意見などをいただくこととした次第でございます。</p> <p>行政改革はもちろん財政の健全化のためではありますが、最終的には全市民の幸せのためでありますので、委員の皆様には、本市の行政改革の取り組みの点検や、特に重点課題であります「公共施設のあり方検討」につきまして、それぞれの専門的知識などを活かしていただきながら、市民を代表して議論していただき、最終的には提言という形でご助言を賜りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この後、第1回の委員会が開催されるということですので、実りある会議となりますことをご祈念申し上げまして、一言ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございます。以上で委嘱状交付式を終了いたします。</p> <p>なお、この後、第1回の委員会を当会議室において行いたいと思いますが、市長におかれましては所用のためここで退席いたしますので、ご了承ください。</p> <p style="text-align: center;">＜市長退席＞</p> <p>それではこれより、第1回魚津市行政改革推進委員会をはじめたいと思います。</p> <p>まずはじめに本日の配布物であります、資料No.5の追加資料と、振込先の確認についての文書、それと会議資料を綴っていただくファイルをお配りしております。会議全体の資料につきましては、先日、郵送でお送りさせていただきました、本日、お持ちいただくようご連絡しておりましたが、皆様お持ちでしょうか。</p> <p>それでは、本日の日程ですが、次第のとおり進めさせていただきます、終了は午後4時を予定しております。</p>
事務局		
事務局		

事務局	<p>委員のご紹介につきましては、先ほどの委嘱状交付の際、お名前の読み上げがございましたので割愛させていただきました、ここで事務局をご紹介します。</p> <p style="text-align: center;">＜事務局紹介＞</p> <p>○魚津市行政改革推進委員会の取組みについて</p> <p>続きまして、当委員会の取組みにつきましてご説明いたします。</p> <p>お手元の資料No.2をご覧ください。</p> <p>まず、取組みの趣旨でございますが、本市におきましては、平成 22 年 4 月に策定しました「魚津市行政改革集中プラン」に基づきまして、現在、行政改革の推進に取り組んでいるところでございます。しかしながら、今後、本市を取り巻く環境が大きく変化していくと予想される中におきましては、持続的に行財政経営を行っていくためにも、引き続き行政改革に取り組んでいく必要があると考えているところでございます。</p> <p>一方で、高度経済成長と人口増加を背景に増加を続けてまいりました公共施設につきましては、今後、次々と耐用年数を迎えることとなり、多額の更新費用が見込まれることが全国的な問題となっており、これは本市においても例外ではございません。既存の公共施設を現状のまま維持し続けることはこれからの市政運営にとって大きな負担でありますし、真に必要な行政サービスにまで影響を及ぼしかねないと考えております。</p> <p>以上より、本市としましては、今後さらなる行政改革に取り組んでいく必要があると考えており、なかでも公共施設のあり方については、重点的に、また、早急に検討していくべき課題であると位置付けているところでございまして、行政改革推進委員会におきましては、市民目線で本市の行政改革の取組みを点検していただくとともに、重点課題であります公共施設のあり方検討につきまして、最終的に提言という形でご助言いただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>次に、委員構成であります。本日、お越しいただいております 8 名の方々により検討を進めていただきたいと考えております。</p> <p>委員会の役割につきましては、1 つ目としましては、集中プランの進捗状況を点検いただき、意見や指示などご助言をいただきたいと思っております。2 つ目としましては、重点課題であります公共施設のあり方検討につきまして調査・審議いただき、最終的に提言をいただきたいというふうに考えております。</p> <p>次に情報公開であります。会議や会議資料、また会議録などは原則公開とさせていただきたいと思っております。なお、会議録につきましては、委員の名前は伏せたかたちで、A 委員、B 委員というふうに公開していきたいと考えております。</p>
-----	---

	<p>あと、資料に記載はございませんが、委員の謝金についてであります。市内の委員につきましては、1回あたり5千円、市外の委員につきましては、7千円とさせていただきたいと思っております。なお、この謝金には交通費も含んでおりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>また、振込み先についてですが、本日、皆様のお席に配布しております、「振込先の確認について」に記載されております口座情報でよろしいかどうかご確認いただきまして、振込先の変更や修正箇所などございましたら事務局までご連絡いただきたいと思います。</p> <p>事務局からの説明は以上です。なお、資料No.3に委員会の設置要綱を付けてございますので、後ほどご覧いただければと思います。</p> <p>これまでの点につきまして、何かご質問などございますでしょうか。特にないようであれば、議事に移りたいと思います。</p>
事務局	<p>○議事</p> <p>それでは1つ目の議事としまして、会長の選出でございます。</p> <p>設置要綱第5条にありますとおり、会長は委員の互選によりこれを定めるとありますが、自薦、他薦などどなたかご意見等ございますでしょうか。</p> <p>特に意見が無いようであれば、こちらからご提案させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>それでは会長を、県の行政改革委員や県内他市の行政改革委員も務めておられます富山大学の中村教授にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜全員拍手で賛同＞</p> <p>ありがとうございます。続いて、設置要綱には特に規定はございませんが、今後、委員会を進めていくにあたりまして、副会長がおられた方がスムーズにいくものと考えますので、併せて副会長も決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。どなたかご意見などございますでしょうか。</p> <p>特に意見が無いようであれば、事務局よりご提案させていただきたいと思います。</p> <p>それでは副会長のほうを、新世紀委員会の慶野委員長にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局 会長	<p style="text-align: center;">＜全員拍手で賛同＞</p> <p>ありがとうございます。それではここで、お二人を代表しまして中村会長より一言ご挨拶を頂戴したいと思います。</p> <p>富山大学の中村でございます。このたび委員長を引き受けさせていただくことになりました。未熟ではありますが、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>私は、財政学を大学では教えております。今回、魚津市の行政改革の会長をやらせいただくということで、大変身の引き締まる思いであります。</p>

		<p>今後、行政改革を考える上では、市長のお話にもありましたように、人口が減少しているという事実、確か魚津市では前回の国勢調査と前々回の国勢調査でみると3%ぐらい減少していたのかなというふうに記憶しております。</p> <p>そのように人口が減少した中で公共施設のあり方をどう考えていくかというのが非常に重要な課題であるかと思えます。</p> <p>それからもうひとつは、国、地方合わせました財政状況でございます。</p> <p>消費税の税率をアップしてその一部が地方消費税になるということも言われてはおりますけれども、やはり全体で見ましても、なかなか地方の財政がすぐに税収あるいは歳入の面で改善するとは言いがたい状況でございます。</p> <p>そのような中で私たちが取り組んでいかないといけない課題というのは、やはり行政改革かなというふうに考えております。</p> <p>また、財政状況をみましても、ポテンシャルの高い自治体であると思っております。</p> <p>税収を1人当たりで見ますと15万円程度であったかと思えます。これは地方都市の中でも高い部類に入っております。それから財政力指数も0.7を超えているということで、非常に地力のある自治体であると考えております。</p> <p>そういった中で、さらにスリムで筋肉質な行政を目指すといった形で、それを将来の夢につなげていくというところについて、この委員会で何か方向性を打ち出せたらいいなと考えております。</p> <p>行革と聞きますと、どうも暗いといったイメージになりがちではございますが、明日の夢を描くためにも基礎体力を充実させておくことが非常に大事なのかなというふうに思っております。</p> <p>議事の進め方等不手際も多々あるかと思えますが、皆様に支えられていきながら何とか提言を取りまとめたというふうに考えておりますので、どうかよろしく願い申し上げます。</p> <p>事務局 会長</p> <p>ありがとうございました。それではここからの議事進行は会長にお願いしたいと思いますので、席を移っていただきまして、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って議事を進めていきたいと思えます。</p> <p>本日の主な目的のひとつは、最初の委員会ということで私たち委員で、魚津市の現状あるいは財政状況についての問題意識を共有しておきたいというのがひとつの課題としてございます。</p> <p>つきましては、議事の最初といたしまして、魚津市行政改革集中プランの進捗状況の確認について事務局のほうから説明願います。</p>
--	--	---

事務局	<p>それでは事務局より説明させていただきますが、時間の都合もございませので、各プランごとの説明は省略させていただきます。全体的なお話しをさせていただきたいと思ひます。それでは資料No.4と参考資料No.2の3ページ目をご覧ください。集中プランは平成22年度から26年度までの5年間を実施期間として策定されておひまして、7つの重点項目と20の細目、そして46のプラン項目においてその進捗状況を管理しておひます。</p> <p>なお、当初のプラン項目は45項目でしたが、先月の25日に開催されました、市役所内部委員で構成されます魚津市行政改革推進協議会におきまして、1プラン追加となったため、現在46項目あるということござひます。追加となった理由ですが、プランの6に市立保育園の民営化検討というものござひます。当初、担当課からはその項目に愛育園の閉園についての記述がされておひましたが、プランの6につきましては、あくまで保育園の民営化に限定し、統合・廃止については別のプランとすべきとの意見が協議会でおひされたことから、プランの10に幼稚園の統合という項目ござひますので、そこに絡めて新たに10-2を設け、公立保育園の廃止に関する項目を追加したため46項目となったところござひます。</p> <p>話を戻しますが、各プランにおきましては、基本的に毎年度の数値目標を設定し、実績値がどのくらい各年度の目標値をクリアしているかでその進捗率を計っておひますが、中には適切な指標が存在しないといった理由から数値目標を設定していないプランもござひます。そういったプランにつきましては、具体的な取組実績を踏まえて、進捗状況を把握しているところござひます。</p> <p>なお、先月開催しました魚津市行政改革推進協議会におきまして各プランの進捗状況を事前に点検いただいたところ、いくつかの具体的な指示事項なども出たところござひまして、今後、担当課のほうへ指示事項を通知する予定としているところでありませ。</p> <p>集中プランの全体的な動きについてですが、資料No.4の6ページ目、下のほうをご覧ください。そこに平成22年度と平成23年度におけます各進捗率の件数と構成比を載せてござひます。22年度と23年度の各件数を比較いたしますと、Bの概ね順調が1件減っておひますが、Aの順調が2件増加しておひ、また、Cの遅延は2件増加しておひますが、Dの未実施は2件減のゼロとなりました。</p> <p>なお、22年度に比べ進捗状況が改善されたプラン項目は全部で9つあり、その内訳は、DからCへの改善が2件、CからBが4件、CからAが1件、BからAが2件でありませ。一方、進捗状況が悪化した項目は全部で5つござひまして、その内訳としましては、BからCが4件、AからCが1件でありませ。</p>
-----	---

	<p>構成比をご覧くださいますと、23年度ではA・B合わせて50.0%となっていることから、半数のプランが80%以上進捗しているということになっております。</p> <p>以上より、少しずつではありますが、着実にプラン項目の目標達成に向けて進んでいっているものと思っておりますが、今後も引き続き各プランの課題などを洗い出し、整理していくと同時に、担当課に指導などしながら、行政改革を進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、補足としまして、重点項目2の「行政の担うべき役割の見直し」の中に、重点課題として今回検討いただく予定にしております「公共施設のあり方検討」がプラン細目として入っております。重点項目2全体の進捗状況を見てみますと、進捗状況がB以上の割合が61.5%であり、ある程度順調に進んでいるようにも見えますが、プランの具体的内容を見てみますと、計画的な維持管理や修繕の実施などが実施内容としてあげられている項目もございます。もちろんこういった内容も必要ではありますが、本当の意味での公共施設のあり方が検討されているわけではないところもございますので、こういった点からも当委員会におきまして、今後、客観的に公共施設のあり方をご検討いただきまして、各施設の方向性などを打ち出していいただければと思っております。</p> <p>私のほうからの説明は以上となりますので、何かご質問やご意見などございましたら、よろしくお願いたします。</p> <p>なお、委員の皆様からいただきます意見などについては、資料No.4の一番右の欄にあります委員会からの指示事項・意見等に記載し、職員へ周知していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ただ今、事務局から説明いただいた事項について、ご質問あるいはご意見などございましたら、どなたからでも結構ですのでお願いたします。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>なにかございませんか。それでは私のほうから1点お聞きしますが、今説明いただいたこのプランの進捗状況のなかで、今回、この委員会で検討するのが公共施設のあり方についてということで、そこは先ほど説明がありましたが、61.5%が概ね順調にきているんだけれども、もう一方踏み込んだ形で検討してほしいというのが事務局あるいは市の方から委員会への提案というか依頼というかそういう意味合いでよろしいでしょうか。</p> <p>そのとおりでございます。</p> <p>そうしましたら、先に進みながら、またお気づきの点などありましたら後日でもかまいませんので、ご意見など出していただければと思います。</p> <p>それでは、次の議事は公共施設のあり方の検討についてでございますが、資料No.5に沿って、事務局から説明いただきたいと思っております。</p>

	事務局	<p>ただ、資料No.5はボリュームがあるため、最初に財政見通しのところをひとつの区切りとして一旦ご質問などを受け、その後、公共施設の点についてご説明いただきたいと思います。では事務局のほうからご説明をお願いします。</p> <p>それでは事務局よりご説明いたします。</p> <p>さきほど、資料No.2の趣旨説明でもお話ししましたとおり、今後、少子高齢化や財源不足が見込まれることから、魚津市としては早急に公共施設のあり方について、検討していく必要があると考えております。</p> <p>検討を進めるにあたり、当然、市民の方々などの意見も踏まえながら取り組んでいく必要があると考えまして、今回、委員の皆様には、この公共施設のあり方検討というテーマにつきまして、重点的にご検討いただきたいと思いますので、よろしくご願いいいたします。</p> <p>それでは資料No.5の1ページ目をご覧ください。</p> <p>まず、1の人口についてでございます。</p> <p>(1)の現状としまして、グラフをみていただければ分かりやすいかと思いますが、昭和60年以降年々減少しております、平成22年度の国勢調査時点では44,959人となっております、昭和55年と比べて4,553人、割合にして9.2%減少しております。</p> <p>また、下のグラフでは、年少人口の割合が年々減少している一方で、老年人口の割合は年々増加しており、昭和55年と平成22年では、その2つの割合が逆転しているのが分かるかと思えます。</p> <p>国や県と比較しましてもやや早い段階で高齢化が進んでいることから、少子高齢化への対応が急務となっております。</p> <p>続きまして、2ページ目をご覧ください。</p> <p>将来人口推計であります、国立社会保障・人口問題研究所のデータによりますと、今後も引き続き人口は減少していき、平成47年には34,337人まで落ち込むものと予測されております。</p> <p>また、平成22年と平成47年を比較いたしますと、年少人口は約半数に落ち込む一方、老年人口は778人増と微増ながら割合的には10.7%増と大きく増えていることから、少子高齢化が今後も引き続き、着実に進んでいくものと予測されております。</p> <p>続いて、3ページ目をご覧ください。</p> <p>財政状況についてであります。</p> <p>3ページ目は、平成24年度当初予算の状況ということで、今年度実施しております主要な事業についていくつか載せてございます。</p> <p>一般財源総額につきましては169億35百万円となっております、歳入の中では市税が37.8%と最も大きくなっております。</p>
--	-----	---

歳出につきましては、人件費と扶助費と公債費を合わせました、いわゆる義務的経費というものが全体の45.9%と半数近い割合を示しており、厳しい財政状況であることが分かるかと思えます。

4ページ目以降では、これまでの予算などの推移を見ていきたいと思えます。

まず、4ページ目(2)のここ10年間におけます市税科目別内訳の推移であります。平成24年度の内訳を見ますと、市税収入の中では固定資産税が約35億円と最も大きくなっておりまして、市税全体の約55%を占めております。また、市税収入予算のうち個人市民税につきましては、平成24年度とここ10年間において最も大きい金額となりました。平成20年度を比較しますと約3億円減少していることが分かります。

続いて、下の(3)ここ10年間におけます一般会計歳出経費別構成比の推移でございますが、先ほども申しましたとおり、人件費と扶助費と公債費を合わせました義務的経費が、コンスタントに40%を超えておりまして、高い水準で推移しておりますことから、財政の硬直化が恒常的なものであるということが分かるかと思えます。

次に5ページ目をご覧ください。

財政の弾力性を判断するときによく使われる指標として、(4)に経常収支比率の過去10年間の推移を載せてございます。

そもそも経常収支比率とはどういうものかということですが、経常収支比率は、人件費・扶助費・公債費等の経常的経費に地方税や普通交付税などを中心とした経常的な一般財源がどの程度充当されているかを表している比率のことです。市町村レベルでは、75%がボーダーラインと言われておりまして、75%を超えると財政の硬直化が進んでいるということになります。

しかしながら、本市の経常収支比率の推移を見ますと、過去10年間は常に75%を大きく超えておりまして、ここ数年におきましては90%前後を推移するなど、かなり財政の硬直化が深刻な状態となっていることが分かるかと思えます。

次にその下の(5)扶助費と投資的経費のここ10年間の推移であります。投資的経費については、平成19年度のように一時的なハード事業などがあつたりしますと、その年だけ飛びぬけて大きくなるということもございしますが、グラフを見ていただければ分かるとおり、予算に占める割合も年々減ってきていることから、減少傾向にあるといえるかと思えます。

一方、扶助費については、投資的経費とは逆で年々増加しており、10年前と比較しますと約10億円増加しております。グラフから、この10年間で投資的経費と扶助費の割合がきれいに逆転していることが分かるかと

<p>会長</p> <p>A委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>思います。</p> <p>次に、6ページ目をご覧ください。ここ10年間におけます一般会計から特別会計への繰出金の推移でございます。</p> <p>平成24年度におけます繰出金を見ますと、下水道会計への繰出金が約8億円と最も大きくなっていますが、10年前と比較しますと約2億円減少しており、グラフからも減少傾向にあることが分かるかと思えます。</p> <p>一方で、高齢者を対象とした老人・後期高齢者医療会計への繰出金につきましては、ほぼ年々増加しており、10年前と比較しますと約3億円増加しております。</p> <p>全体的な動きとしましては、先ほどの扶助費と投資的経費の推移と同様の動きになっていることが分かるかと思えます。</p> <p>それでは続いて、7ページ目をご覧ください。</p> <p>今後の財政見通しでございますが、財政見通しにつきましては、平成22年度をベースに、人口増減の影響を受けやすいものを対象に試算をいたしました。</p> <p>歳入におきましては、市税のうち生産年齢人口の影響を受けやすい個人市民税と、税収の増減により変動する普通交付税を対象に試算しております。歳出におきましては、今後、高齢化が進むと予測されることから、主に高齢者を対象としました介護保険特別会計と後期高齢者医療特別会計に対する一般会計からの繰出金を対象に試算いたしました。</p> <p>その結果、平成47年度におきましては、平成22年度対比で約11億円の歳入減となる一方で、歳出側で高齢者関連への繰出金が約2億円増加することから、合わせて平成47年度には13億円の財源が22年度と比べて不足するものと見込んでいるところでございます。</p> <p>事務局からの説明は以上であります。</p> <p>ありがとうございます。ただ今説明いただいたのは、魚津市における財政の現状と将来の見込についてであります。</p> <p>ご質問あるいはご意見があればお聞かせいただきたいと思えます。</p> <p>どなたからでも結構でございます。お願いいたします。</p> <p>3ページの中で、固定資産税が約1億5千7百万円減とありますが、主な原因はなんでしょうか。</p> <p>こちらにつきましては、償却資産の減少が大きな理由でございます。あとは、3年に1度の評価替えに伴う減がございます。</p> <p>ほかにごございますでしょうか。それでは、また私から質問させていただきますが、一般会計から繰出しをしている特別会計として、老人・後期高齢者医療会計と介護保険会計というのは増加傾向にあるということですが、これはそれぞれの制度で定められた法定の繰出金の分と、それから</p>
---	---

事務局	<p>法定以外の分も繰出していたりするのでしょうか。</p> <p>医療費関係ですが、法定の部分が增加していることに伴う増と、あと市単独でやっているものも若干ございます。そういうところに対する増という2つの要因がございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほどご説明いただいたところで、私たちが今後、検討するなかで注意しておかないといけないところが、やはり高齢化に伴って扶助費、いわゆる社会保障関係の支出がどんどん増えていくということと、その一方で国全体の政策としてコンクリートから人へといったところもあるかも分かりませんが、インフラ整備あるいは公共事業といったかたちでの支出が少し窮屈になってきているということです。</p> <p>ただし、高度経済成長期に整備された公共施設については、すでに耐用年数を迎えているものもあるということで、こういう非常に厳しい状況の中で、どういった形で公共施設のあり方を考えるかということが今の説明で分かったところなのではないかなと思います。</p> <p>それでは、後段の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料No.5の8ページ目をご覧ください。公共施設についてであります。市が保有する公共施設のうち、そのあり方をご検討いただく対象施設は、上下水道施設を除いた建物のあるすべての施設といたしました。</p> <p>なお、上下水道施設につきましては、維持管理及び更新経費等が、基本的に施設の利用料金収入といった特定財源が充当される部分が多いことから今回の対象から外させていただきました。</p> <p>また、道路や橋梁といったインフラ資産につきましても今回の検討の対象外としておりますが、インフラ資産につきましても今後次々と耐用年数を迎えていくことになり、多額の更新費用が予想されます。</p> <p>インフラ資産につきましても、別途そのあり方を検討する必要があると考えておりますが、更新しないわけにはいかないことから、今後計画的に更新等を進めていく必要があるものと考えております。</p> <p>それでは、8ページ下の一覧表をご覧くださいなのですが、対象とします公共施設の施設数は、平成23年3月31日現在におきまして159施設ございまして、建物総面積では約19万5千㎡となります。また、対象となる公共施設につきましては、一覧表にありますとおり、大分類と中分類というふうに整理させていただきました。</p> <p>大分類別に見ますと、学校教育施設が約6万9千㎡と最も大きくなっておりまして、全体の約35%を占めておるところでございます。次いで、社会教育・文化施設、市営住宅等の順になっております。</p> <p>続きまして、9ページ目をご覧ください。</p>

	<p>まず、(2)の施設の維持補修や改修などに必要な経費の試算についてであります。市が保有する施設につきましては、将来も保有し続けるとした場合、補修や補強、また老朽化に伴う更新などを行っていく必要がございます。</p> <p>試算につきましては、期間を平成23年度から平成27年度までの65年間と設定いたしまして、建築から20年経過した段階で中規模改修を1回実施、40年経過したところで2回目の中規模改修を実施、また、60年経過したところで解体及び建替えを行うものとして試算しております。10ページから13ページには、8ページの大分類別に修繕費用や改修費用等の見込みを載せてあり、9ページの下には、AからHの大分類の合計が載せてございます。</p> <p>本日は、大枠の説明でございますので、9ページ目を基本にご説明いたしますが、今ほど申しました前提で試算しましたところ、65年間で総額837億円の維持補修等経費が必要となり、これを1年当たりには約12億9千万円となります。本日、追加でお渡しいたしました資料No.5追加分も合わせてご覧いただきたいと思いますが、過去10年間において当初予算に計上した維持補修等経費は総額で約62億円となり、1年平均では約6億2千万円ということになります。先ほどの試算結果と比較しますと、今後、毎年倍以上の維持補修等経費を予算措置しなければならないことになり、大変厳しい状況であることが分かるかと思っております。</p> <p>なお、将来的な維持補修等経費につきましては、本日お渡ししました追加資料にありますとおり平成53年度から57年度が最も大きくなると試算されておりまして、この主な内容は、昭和55年頃に建設されました学びの森や東部中学校などが60年経過したことによる建替え経費が大きくなっていることなどが要因となっております。</p> <p>次に(3)の施設の管理運営経費についてでございますが、対象施設全体におけます平成22年度決算額は約17億7千万円となっております。</p> <p>この金額は、既存の施設をそのまま維持していくとした場合、基本的に毎年必要な金額でございますが、先ほどの維持補修等経費と合わせますと毎年30億円以上の費用が必要となってきます。</p> <p>次に、(4)の施設の老朽化の状況についてでございますが、対象施設について建築年度からの経過年数に基づき述べ床面積で区分した結果、30年以上経過している施設の割合は44.6%となっており、今後、多くの施設が改修や補強といった工事が必要な時期を迎えていくことから、既存の施設をそのまま維持していくとした場合、改修費用などが急増することが予想されます。</p> <p>それでは10ページ以降は省略させていただきますので、続いて15ページ</p>
--	---

	<p>をご覧ください。</p> <p>今ほど、人口や財政状況、公共施設につきましてご説明してまいりましたが、これらの現状や将来推計を踏まえまして、本市といたしましては、今後、さらなる行政改革に取り組んでいく必要があるものと考えております。なかでも、公共施設のあり方につきましては、近い将来、多額の更新費用などが見込まれることから、早急に対応すべき重点課題であると捉えております。</p> <p>魚津市行政改革推進委員会におきましては、15 ページの下のほうに書かれております「施設整備から機能確保への転換」、「新規整備から既存施設の有効活用への転換」、「将来的な人口減に向けた施設保有量の縮減」といった3つの検討の方向性にご留意いただきながら、重点課題であります公共施設のあり方検討について、ご助言をいただきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>引き続き 17 ページをご覧くださいなのですが、17 ページには、今後、公共施設のあり方を検討していく上でのイメージを載せてございます。</p> <p>あくまで事務局としての案ではありますが、現状把握に始まりまして、施設機能やサービスといった各視点からの施設評価を進めていただき、その後、廃止や更新といった各施設の方向性などを適正な受益者負担や民間手法の活用といった点を踏まえ、示していただければと考えているところであります。</p> <p>最終的には、委員会で検討していただきますこういった中身のものを提言として盛り込んでいければいいのかな、と考えているところです。</p> <p>事務局からの説明は以上です。スケジュールにつきましては、最後にお話させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございました。ただ今、公共施設の概略、状況についてご説明いただいたところです。</p> <p>今ほど説明いただきました 17 ページのあり方検討のイメージというところがございますが、今日は現状把握ということで、人口推計や財政見通しについては先ほどご説明いただいたとおりでございます。それから公共施設の改修などの経費についても、今ほどあらあらの試算をご説明いただいたところでございます。</p> <p>次回以降は施設の評価についてということですが、その時にどのような観点で評価を進めていけばいいのか、あるいは、全ての施設をもれなくこの委員会で検討するというわけにもなかなかいかないということで、まずは優先的な施設について考えていかないといけないと思います。</p> <p>それで、その優先的にとはどういった視点で判断していけばいいのか、というところが、今回の委員会の中心的な課題になろうかと思われま</p>
--	--

会長

B委員	<p>あくまでこのあり方検討のイメージということ为前提として話をしているわけですが、ここのイメージの話も含めまして、何かご意見あるいはご質問などありましたらお願いいたします。</p>
事務局	<p>今ほどご説明いただきました施設の管理・運営についてということで、9ページの(3)に平成22年度決算で17億7千万円とあり、また維持補修経費の見込みとして年間12億9千万円ということで、今後、毎年30億円以上の費用が必要になるということですが、4ページ目のほうの(3)に一般会計歳出経費別構成比の推移とあります。現在、魚津市の予算は170億円程度だということですが、そのうちパーセンテージで考えるとこの表のなかでどの部分にその30億円が含まれてくるのでしょうか。もしくはどこが1番多くなっていますか。</p>
事務局	<p>管理運営経費については、主に委託料だとか光熱水費が主なものになりますので、その他のところに含まれてきます。</p> <p>また、維持補修経費については、ハード的な内容になりますので投資的経費に含まれます。</p>
事務局	<p>5ページにあります経常収支比率のグラフを見ていただければ分かるとおりに非常に高い水準となっております、市の予算170億円がほとんど決まった使い道とならざるを得ない状況となっております。新しい取組みに使える経費がほとんどないということで、そこが一番の問題かなと考えています。</p> <p>このままで行きますと、今後もこの状態が続いていってしまうことになります。</p>
事務局	<p>行政というのは、市税が増えてみても交付税で減額となったりして、歳入側ではなかなか努力が報われないところがあるため、そういったことから歳出側で公共施設の部分を、今後、人口減少も見込まれるということで見直しを進めていただきたいと思います。</p>
会長	<p>会長からもお話がありましたとおり、この施設のあり方というものを検討していくときにどういった視点で施設を見直していくか、この委員会として施設のあり方をどう検討していくかというポイントがはっきりしないと、今後の委員会の進め方なり施設の評価なりが、市民に対して説明しづらいのかなと思いますので、今日はそういった部分について皆さんから意見をいただきたいと思います。</p>
会長	<p>説明のなかで財政的に非常に厳しいというところはわかりました。</p> <p>先ほど視点というお話がありましたが、進め方として次回以降はこういった施設を検討対象としていけばどうかというふうなところを、できれば次回あたりで判断材料を事務局のほうから示していただいて、必要であれば現地視察もやったり、また、さらに詳しい資料なども出してもらいな</p>

		ら担当課の方ともヒアリングが必要でしょうし、そういった形で個別の案件について考えていくといった進め方でいかかでしょうか。
A委員		8ページに159の施設が検討対象とありますが、この中で、例えば大分類Gの市営住宅・公園は市独自のものですよね。それに対してBの学校教育施設なんかは、市だけでなく県や国の関わりがあると思います。
会長		そういった点を考慮して検討を進めていく必要があると思います。
会長		小学校、中学校もそうですが、運営主体は基本的に市町村だけれども、先生の人件費なんかは県から出しているでしょうから、委員が言われるとおり、運営上、違いはあるものと思います。
事務局		事務局としては、こういった視点で案件を抽出してほしいといった意見がないと、次回に向けた作業がしづらいでしょうか。
C委員		建物を廃止するか、統合するかなど色々な選択肢がありますが、17ページのなかの施設評価のところで行くつかの視点があり、この中でしいて言えば、利用者数が少ないといった施設は手が付けやすいと思います。
D委員		また、類似施設の有無なども、比較的判断材料としやすいのかなと思います。
事務局		今現在の年間出生数はどのくらいでしょうか。300人くらいですか。
D委員		300人は切っていると思います。
事務局		となると、6年後に小学校1年生になる子供は300人いないということで、1クラス30人しても10クラスにもならないことになります。
D委員		学校の問題は皆さんあまり手を付けたがらないといいますか、話をしながらないところで、非常に難しい問題ではありますが、10年後、20年後を見据え、子供達のことを考えて、この委員会で話をしていき、提言していく必要があると思います。
事務局		それと、この公共施設の各数字の中には、道路や橋梁などの分は入っていないんですね。
D委員		別です。現在、橋梁については国土交通省が各市町村に長寿命化計画を作らせているところであり、今後、この委員会でそういった情報などもお話していけるかと思っております。
事務局		また、市民に対しても、そういったインフラの状況などもお伝えしていければ、より分かりやすいものになるかと思っておりますので、数字がまとまってくれば出せる可能性もあるかと考えています。
D委員		おおまかな数字でもいいので、分かれば教えてください。
事務局		学校の統廃合については、平成18年から進めているところであり、その後、説明会なども行っているところですが、各地域に1つの小学校がないとどうなるのかということで、かなりの反発もありましたが、確かに教

B委員	<p>育委員会だけでは進めづらいところもありますので、当委員会のほうから大きな視点で提言をしていただければそういったところも進みやすいのかなと思っております。</p> <p>今後は、教育委員会の計画などもお示ししながら検討いただきたいと思っています。</p> <p>子供達に良い環境で勉強してほしいというところが大前提としてありますので、よろしくお願いします。</p> <p>学校の話についてですが、市民の皆さんの感情的に言えば、なぜうちの地区だけがといった話のもっていき方は絶対ダメだと思います。</p> <p>まず切り口としては、市の財政状況をもっと分かりやすい資料で市民に提供して、魚津市は10年後、20年後、財政的に困難なんだということを示して、だから公共施設を少なくしないといけないといったところから入っていけばいいと思います。</p> <p>また、少子化といった問題もあることから、学校の統廃合を考えていけないといけないのは喫緊の課題だということから説明されればいいのかと思います。</p>
会長	<p>個別の地域の学校だけを対象とするのではなく、あくまで市内全体的に統廃合を進めるんだというスタンスをどう示すかというのが、手法の問題かもしれないが大事になると思います。</p> <p>今のお話は非常に大事なところで、まず全体で財政的に厳しいということと、それから公共施設の整備あるいは維持補修というのが非常に問題となってきているというところは、市民一人一人に分かり易い形で情報提供していくべきだと思います。</p> <p>正直言いまして、今日の資料は委員会向けの資料だからいいんだけど、市民にとっては分かりにくいと思います。</p> <p>もちろん事務局のほうとしては、正確性だとか個々の前提条件などをきっちりと整理したうえで話をしていかないと、数字だけが一人歩きして誤解を生んでしまうというところに注意されていると思いますが、もう少し表現などを市民向けに分かりやすくなるよう工夫してもらえればと思います。</p> <p>その上で、私たち委員会として、こことこの施設がどうだからこうだといった話をする前に、全体として方針はこうなんですよというところを、委員会の意見としてしっかりと意思統一というか全員一致のうえでまとめていくことができればいいと思います。</p> <p>そうすると、こういった状況でまたこういう方針で進めていくとこことこの施設が対象となる、というのは次の段階でいくつかの施設が出てくるでしょうし、それはあくまで地域の事情だとかを考慮したものではない</p>

	<p>ことから、そこら辺も考えていくとまた色々な意見も出てくると思いますし、そこはもう一段検討が必要になると思います。</p> <p>やはり手順を踏んで説明をしていきながら、検討していくことが大事だと思います。</p> <p>学校については、やはり子供の数が減ってきているということで、他のサービスから言えば、サービスを受ける人が減っていくなかで、同じようにお金をかけていけば、一人あたりに手厚いサービスが提供できるというふうになるはずなんです。ところが、学校というものはなかなかそうはならないという面があると思います。それは別に学校の先生が悪いとか、そういうことではなくて、小学校という一つの施設があって、そこに子供達に通っているという、そういうサービスの仕組みから出てくる必然的なものになるのですが、そこはやはり何とかしたいですね。</p> <p>子供の数が減ってきたら一人一人を大切に育てていくという形でのサービスの提供ができないか、というふうな目線で考えていけないかと思えます。</p>
C委員	<p>学校や、また公民館など地域に根ざした施設というものがあまして、それを換えようとする地域住民の方々の色々な事情が噴出してきて、なかなか行政と地域住民との間でスムーズに話が進まないということは全国的によくある話かと思えます。</p>
会長	<p>そういったときに、PPP という公民連携を活用していけば、行政側の応援団になることもできますし、地域住民に対しても、民側としてお願いをするという役割もできるのではないかなと思っております。</p>
事務局	<p>PPP いわゆる公民連携という形で、さきほど施設の機能確保という事務局からの話がありましたけれど、機能確保していくという段階で、公と民がどう協力していくかというところが非常に大事だし、施設についての1つの方向性ではないかなというふうに考えております。</p>
E委員	<p>今後、施設を新たに作らないということはあるので、施設が古くなって建替えするときには、委員が言われたようにPPP という考え方も取り入れないと、なかなか難しいところもあるかと思えます。</p> <p>小学校は1人2人のところよりは、やはり適正な規模で学ばせたいというのが親の思いだと思いますので、極端な話、東部と西部に2校ずつ程度でいいのではないかと思います。今の若い親たちはそれくらいに思っておられると思います。</p> <p>やはり地域に昔からおられる方々の思いであったり、色々な役職の方の意見などがあって進まないというところもあると思います。</p> <p>学校はコミュニティの場という意識があって、自分の地区にしかも自分が普通通っていた学校がなくなるということは確かに淋しいかもしれませ</p>

	事務局	<p>んけど、市の現状などを見ていただいて、ご理解いただけるように情報を提供していけばいいと思います。</p> <p>この学校の問題が早く進んでくれればいいのになとは思ってはいるんですけど、もうちょっと行政側が主導的になってくれれば、もっと話が進むんじゃないかなっていう意見もやはり持っていらっしゃる方もおられます。</p> <p>統合問題というか学校規模の適正化の問題については、メリット・デメリットとか色々ありますけど、今の厳しい時代を生きていくためにはきちんとした教育を子供達に受けさせてあげたいという思いが強いです。</p> <p>将来的に子供の人数がどうなっていくのかだとか、学校の運営経費がどのくらいかかっているのかとか、今日はそういった資料がありませんが、色々なデータをきっちりと整理し、市民に説明していけばうまい具合に進んでいくのではないかなと思います。</p> <p>これまで教育委員会では、そういった財政的な話を前面に出して学校の統廃合を進めるといのはなかなか難しいところがございます、今ほど委員が言われたように、この委員会でしっかりデータなどを整理して、また、市民にお知らせしていき、市全体で取り組んでいくという姿勢があれば、良い方向にいくと考えておりますので、生のデータをこの委員会を通して公表していくことで議論を深めていきたいと考えております。</p> <p>なお、学校規模の適正化については、教育委員会のほうで計画を策定し進めているところではありますが、教育委員会においては、どうしても財政的なところよりも子供達の教育環境という視点でのみ進めていたため、今でいう耐震化などの話と結びついていなかったところがありますので、こことこの小学校の統合、という具体的な話になるとなかなか進まなかったところがあります。</p> <p>この委員会では、こことこの統合といった内容よりも、市内に何校ぐらゐの小学校があれば適正かといったところを打ち出していただけだと思います。</p> <p>また、保育園については、現在、市内に公立のものが9施設あり、そのほかに私立が8施設あります。</p> <p>幼稚園は、公立が2施設と私立で1施設あります。</p> <p>子供の数が極端に減っているにもかかわらず、これだけの施設数がずっと残っているということになります。</p> <p>特に保育園については、市でないとできないというものでもございませんで、民間へ委ねていったほうが良いんじゃないかという議論が庁内でもありますが、その時にこれだけの数を目標にしていけば良いんじゃないかといった具体的な数字が出ていないのが現状です。</p>
--	-----	--

D委員	給食センターは市内 12 の小学校全ての給食を作っているのですか。
事務局	片貝小学校を除いた 11 の小学校分と幼稚園分を作っています。
C委員	学校の問題については、遠い将来を考えて、小中一貫校にしていくなど、もっと新しい教育を考えていく必要があると思います。
F委員	公民館については、活動が盛んなところもあれば、あまり活動していないところもあります。
	今ほど、学校関連で少子化のお話が出ましたが、いずれは高齢化が少子化を上回ってきます。
	学校については、全ての学校を壊して西と東の一つずつ新しく作れば何の問題も出ないと思います。
	それで、今それほど活用されていない市民バスを小学生に利用してもらえばバスは忙しくてしょうがなくなると思います。
G委員	まちづくりの観点から、どういう施設がこの街にどのくらい必要かということが、一番先にくる課題かと思います。
	魚津というところは、海から山まで奥行き 25k mしかございませんので、そういった点を踏まえて作っていかないと色々な問題が出てくると思います。
	将来的な人の動きなども踏まえたうえでまちづくりを考えていくべきだと思います。
	また、今の対象となっている施設の中にも片貝小学校と片貝保育園といった複合施設があると思いますが、そういった複合施設のほうがいいかどうかということも総合的に考えて、検討を進めていかないといけないと思います。
	何も説明しないままに、今あるものが明日から無いとなると怒りが先に出ますので、市民皆さんが納得できるように進めていかないと、進め方ひとつで感情を害することもありますので、そうったところも踏まえて進めていく必要があると思います。
会長	やはり、説明をしていきつつ理解を求めていくというところがとりわけ大事な問題だというふうに思います。
	こういったことをなぜ考えるのかといったその背景を丁寧に説明できているかというところが、私達が提言する内容が市民の皆さんに説得力をもって受け入れてもらえるかどうかのポイントだと思いますので、そこは丁寧に書いていくことにしましょう。
	それから、先ほど類似施設の話がありましたけれども、対象施設のなかで統合できるようなものはあるのか、あるとすればどういったものかというところをピックアップしていければと思います。
D委員	勤労青少年ホームと職訓センターを壊して、その機能を学びの森へ移転

事務局	<p>しましたが、そのメリットとデメリットとして数字的に出ているものがありますか。統合の成功例として考えられるかどうかですが。</p> <p>施設の機能を1つの施設に統合していくことで、運営経費の面でコストが減少するというメリットがあると思いますが、統合されたという情報が市民などに対してあまり浸透していないため、そういった点を改善していきながら、施設のさらなる有効活用を図るといったところが今後の課題であると考えております。</p>
会長	<p>経費の節減ももちろんですが、それで結果的に行政サービスの水準が向上したというところもあると思います。集約化することによって、専門性の高いことができるだとか、ものによって違いはあるでしょうがそういったメリットやデメリットを示していくということは大事なかなと思いますし、私達もそういった事例があれば、今後検討していく際の材料になるので、是非、聞かせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>公共施設のあり方を考えるうえで、法律的・制度的になくすことのできない施設もやはりいくつかあるのではないかと思います。</p> <p>それから、本来、行政がやるべきものなのか、それとも民間でも十分できるものなのかという区分けもあるでしょうし、また、行政がやるにしても市民から支持を得ているものなのかどうかといったところは利用者数なんかで見えてくる部分もあるかと思います。</p> <p>それから、行政がやるにしても側面からの援助にとどめるなど、様々なやり方があるでしょうから、そういった可能性がないかということもポイントになるかなと思います。</p> <p>魚津市として、どれくらいの施設の数が適正かといったところはなかなか難しいかもしれませんが、例えば、全国的に見てどれくらいの水準で整備がされているかだとか、あるいは、県内の自治体の状況はどうなのかというところは見えていけるのかなと思います。</p> <p>ただ、合併をした自治体は施設が過剰になりやすいため、そういったところと比較して、魚津市はまだ少ないと言われても困るんですが、そこら辺りも考慮して比較できる事例がないか検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>委員の皆様から出していただきました意見を次回までに整理しまして、お示ししたいと思います。</p> <p>また、先ほども意見がありましたが、資料の人口や財政状況等について、市民の皆さんに対して、もう少し分かりやすいものになるようにまとめていきたいと思います。</p>
会長 事務局	<p>それでは今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは、資料No.5の19ページをご覧ください。</p> <p>本日第1回の委員会を皮切りとして計7回の委員会を予定しています。</p>

	<p>平成 25 年 3 月ごろまでに中間報告を行い、市民からの意見なども募集しながら、平成 25 年 12 月を目途に、市長に対して提言をいただきたいと考えております。</p> <p>ただし、会議の内容について、より掘り下げてご検討いただくこととした場合、もしかしたら回数的にも増えてくる可能性もあるかと思いますが、より中身のある提言にしていきたいということで、ご理解のほどよろしく願いいたします。</p> <p>第 2 回の委員会ですが、10 月上旬頃を予定しておりまして、今ほど、委員の皆様からいただきました色々な意見などを踏まえて情報提供などしながら、公共施設の検討を進めていただければと思っております。</p> <p>また、第 2 回の委員会で、ある程度施設を絞り込むものと考えておりまして、3 回目、4 回目では、絞り込んだ施設の現地視察や担当課ヒアリングを予定しておりますが、ここにつきましては効率良く進めるためにも、設置要綱第 7 条に規定されております小委員会を設置し、2 班程度にわかれて検討を進めていただき、その結果を、また全体の集まった中で検討いただいてはどうかということも考えておるところであります。</p> <p>具体的な進め方などにつきましては、次回の委員会でご説明していきたいと思っております。</p> <p>次回の委員会に向けて改めて日程調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>なかなかどういった形で、どこまで掘り下げていくことができるか、あるいはどういった分野が対象になるかといったことについては、現時点では未定で、これから検討していくということなので、それによって進め方も変わってくるかと思いますが、おおよその方向として、こういったスケジュールで進めさせていただければと思っております。</p> <p>何かご意見やご質問などございますでしょうか。</p>
<p>C 委員 事務局</p>	<p>開催日は何日前くらいに連絡がありますか。</p> <p>遅くとも 1 ヶ月前には日程調整をさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、会議の前に、事前に資料もお送りしたいと考えております。</p>
<p>会長 D 委員 事務局</p>	<p>本日の議事全体につきまして、何かありましたらお願いいたします。</p> <p>市営住宅というのは、どのような状況でしょうか。</p> <p>市営住宅につきましては、かなり古くなっておりますし、入居者数も低い水準のところもございます。また、費用もかなりかかっております。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>市営住宅に限らず、キャパシティのわりに利用者数が少ないという施設については、また教えていただきたいと思っております。</p> <p>次回の委員会でお示ししていきたいと思っております。</p>

<p>会長</p>	<p>ほかがないようであれば、これで本日の議事はすべて終了いたしましたので、事務局にお返しします。その他、連絡事項などありましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>特に連絡事項はございませんが、本日いただきました意見をまとめて、次回の委員会に反映していきたいと思えます。</p> <p>また、基本的にこのスケジュール内に終わるように事務局から資料を提供しながら、進め方などもこちらで考えてやっていきますが、委員の皆様からも、もっとこういったやり方というふうに言っただけであれば、事務局としましても進めやすいので、よろしくお願ひします。</p> <p>以上をもちまして第1回の委員会を終了させていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上終了。</p>